

【54用語】

桑圃（そうほ）：桑の畑

欽壊（けっかい）：欠壊、欠けて破れること、堤防などが切れること、決壊

【54解説】

明治以降の本県における主な災害では、風水害・雹害・霜害・火災・火山噴火などがあつた。明治中期以降、比較的大きな災害としては、明治二十六年（一八九三）五月の県下全域にわたる降霜被害、同二十九年九月の大風雨被害、同三十九年七月の渡良瀬川の洪水被害、同四十三年八月の台風による大水害などが知られている。

このうち本文書は、明治三十五年九月二十七日から二十八日にかけて県下全域にわたって台風の被害があり、この時、多野郡長から鈴木県知事へ報告した各河川ごとの被害状況である。とくに、県の南西部で被害が大きく、流域町村では増水によって桑畑や橋の流失のほか、死者十名、流失家屋四十七戸を出したという。